

Satisfactory

2021年1月18日（月）
株式会社サティスファクトリー
作成者 R.S



S REPORT サステナブルレポート No.73

スマホ社会 × 環境貢献

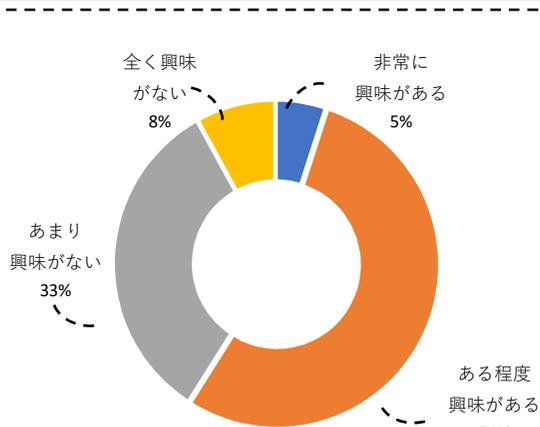
環境サービス



■ エシカル消費の現状と課題

- 消費者庁はSDGs目標の達成に向けた消費者基本計画において**エシカル消費の普及**を目標の一つに挙げている。
- 一方で、エシカル消費に関する消費者意識調査では**認知度が低く**、エシカルな商品は**値段が高い**、**環境への貢献度がわかりづらい**といった調査結果が出ている。
- エシカル消費の興味度は2016年度の36%から2020年には59%へ上昇しているが、行動を実践している人は30%ほどである。

■ エシカル消費の興味度



出典：消費者庁HP「エシカル消費（倫理的消費）に関する消費者意識調査報告書」より筆者作成

■ 消費者基本計画における主な施策

①消費者の安全の確保	②表示の充実と信頼の確保	③適正な取引の実現	④消費者が主役となって選択・行動できる社会の形成	⑤消費者の被害救済、利益保護の特組みの整備	⑥国や地方の消費者行政の体制整備
<p>事故の未然防止、発生時の拡大防止など消費者の安全の確保に向けて、消費者事故の情報収集・公表や消費者への注意喚起に取り組んでいます。</p>	<p>景品表示法の普及啓発・厳正な運用、食品表示による適正な情報提供・関係法令の厳正な運用などに取り組んでいます。</p>	<p>高齢化、情報化の進展など消費者を取り巻く環境の変化を踏まえ、取引の適正化に向けた対応を図っています。</p>	<p>エシカル消費の普及啓発を始め、ライフステージに応じた体系的な消費者教育の推進を図るとともに、食品ロスの削減、消費者志向経営の推進などに取り組んでいます。</p>	<p>消費者の被害救済のための体制の充実を図るとともに、高度情報通信社会やグローバル化の進展に対応した消費者利益の擁護・増進を図っています。</p>	<p>消費者庁が消費者行政の司令塔の役割を果たすとともに、どこに住んでも質の高い相談を受けられる体制整備や高齢者等の見守りネットワークの構築に取り組んでいます。</p>
<p>〈関連するSDGs〉</p>	<p>〈関連するSDGs〉</p>	<p>〈関連するSDGs〉</p>	<p>〈関連するSDGs〉</p>	<p>〈関連するSDGs〉</p>	<p>〈関連するSDGs〉</p>

出典：消費者庁HP

消費者の生活に欠かせないスマホサービスを活用する

ソリューション①：スマホサービスを利用した環境貢献システムを Satisfactory

① スマホ決済 de 環境貢献

- スマホ決済時に獲得する還元ポイントや、利用額の0.1%を**環境保全活動に寄付される仕組み**を構築
⇒地域活性化のツールとして地方自治体への自動寄付機能付き電子マネー実例あり（楽天Edy、ご当地WAON）
国家環境対策として官民連携して新機能を付与したらどうか。
- 寄付した金額・ポイントによって階級が付与され、自己のステータスとしてSNS上で公表できる。
⇒**自身の環境に対する意識をシェアすることが可能**になる。

■ 増加するスマホ決済

● 普段の支払い方法「スマホ決済」の伸び率 ※年代別 ※2019年8月と2020年1月の比較



出典：MMD研究所

■ 電子マネー決済利用額の0.1%が環境寄付されたら

2025年 電子マネー決済市場予測
8兆6,210億円 (※1)



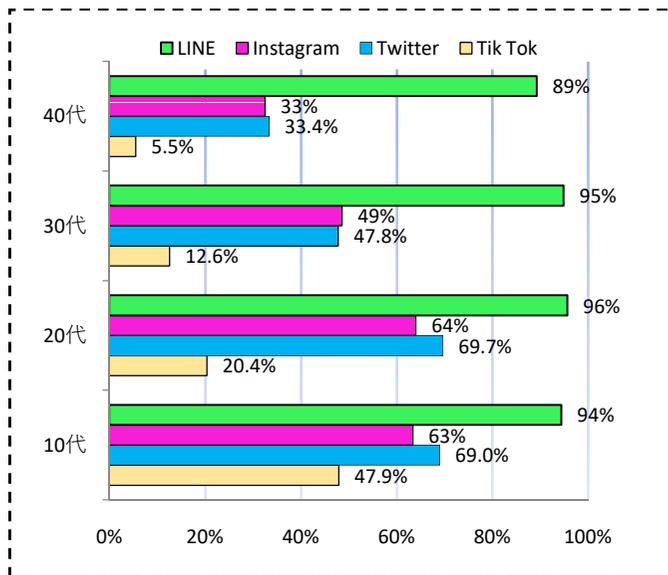
(※1) : moneyzine

買い物も環境貢献もスマホでラクに叶う時代へ

② SNSの活用

- 購入したエシカル商品に対するSNS投稿や、エシカル事業者の投稿への「いいね！」や「リツイート」で割引や追加サービスを受けられるように
- インフルエンサーによるエシカル商品の投稿で認知度アップ

■ SNSの利用状況



出典：総務省 「令和元年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書をもとに筆者作成」

■ 海外では「脱プラ・インフルエンサー」が台頭

脱プラ・インフルエンサー筆頭である28歳女性社会起業家ローレン・シンガー氏 Instagramアカウントでは37万人以上のフォロワーを抱え、脱プラ・ライフスタイル情報を発信している。



出典：「約8年間で出したごみの量」
https://www.instagram.com/p/B6L6231I9-H/?utm_source=ig_web_copy_link

グッチがサステナビリティに特化したInstagramを開設。環境問題や人権問題に対する取り組みを発信している。



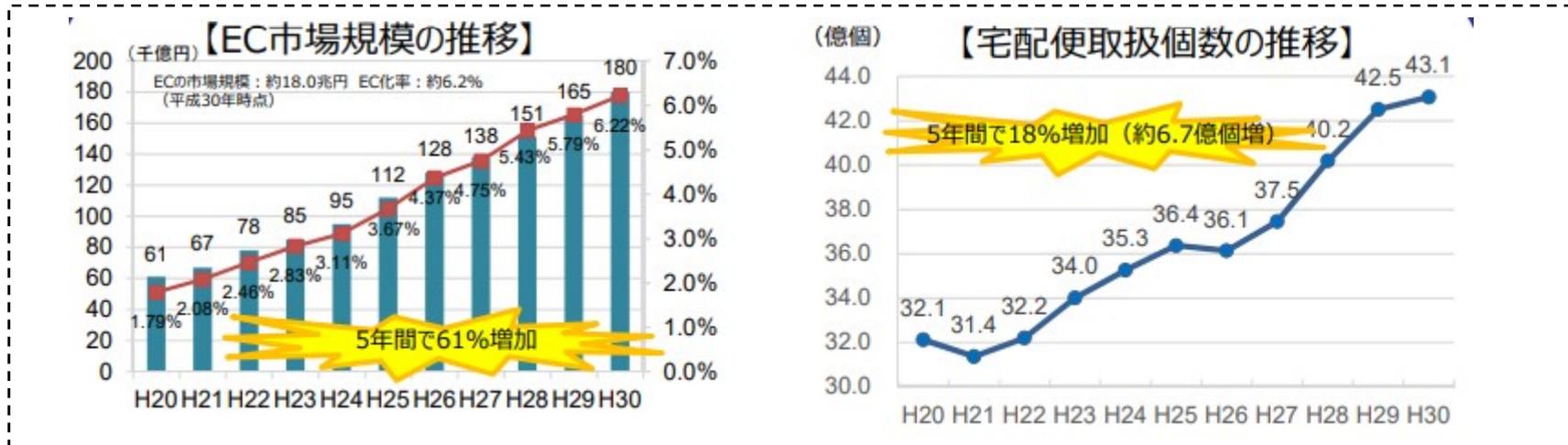
出典：公式Instagram
 (GUCCI EQUILIBRIUM(@gucciequilibrium) • Instagram)

「インスタ映えするもの」から「環境貢献度が高いもの」へ変化

③ 増加するECサイト購入、環境に配慮した配達方法選択でポイントアップ

- コロナ化でEC購入の利用者が増加し、梱包材のプラの使用も増えている。
- 宅配便取扱個数も年々増加しており、その内、再配達は全体の15%を占めている。
- 簡易包装の選択や、配達不在時の置き配など、購入時の**環境負荷軽減選択に貢献ポイントを付与**する。
⇒商品梱包時のビニール類の削減を、環境負荷の軽減や運送時のCO2排出量の削減が見込める。

■ EC購入増加による宅配事業の変化



出典：経済産業省

出典：国土交通省

全てのサービスに環境貢献機能を追加

■ スマホで行う行動に環境貢献のチャンスと鍵が

- 消費者の興味行動を促進するために、企業はわかりやすく簡単にできるサービスの提供が求められている。
- SNS投稿やスマホ決済など、消費者の利用が増加しているサービスを活用することで、エシカル消費の課題解決、環境貢献促進が期待できるのではないだろうか。
- 新しいサービス構築、普及のためには同業企業が連携して行い潮流を創る必要がある。



情報提供から実行支援まで
SDGs・ESGの企業対応を
支援しています。

- ✓ 何から取組み始めればいいかわからない
- ✓ 経営層や社員への浸透に悩んでいる
- ✓ SDGs・ESG投資に関する社内セミナーや社員研修を行いたい

無料!

お問い合わせ/お見積もり

お急ぎの方はお電話で

03-5542-5300

受付時間 9:00~19:30

消費者の日常の行動でサステナブルな社会が創られる

参照・引用資料

- 消費者庁, 「エシカル消費（倫理的消費）に関する消費者意識調査報告書の概要について」, 2020年8月
(URL https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/investigation/assets/consumer_education_cms202_200805_02.pdf)
- 発信者, 「2020年度 SNS利用動向に関する調査」, (URL <https://ictr.co.jp/report/20200729.html>)
- MMD研究所, 「スマホ決済を普段の支払いで利用する人は約3割に増加 毎日スマホ決済を利用する人は非接触決済が21.2%、QRコード決済が18.3%」, 2020年2月27日 (URL https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1847.html)
- AMP, 「「脱プラ・インフルエンサー」が環境問題意識の高まりで台頭、フォロワー数は十万～100万人以上」, 2020年1月13日 (URL <https://ampmedia.jp/2020/01/13/zero-waste-influencers/>)
- 再配達の影響とは？CO2排出量の問題から最適な配達方法を考える <https://www.okippa.life/blog/20190219/5363/>

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先：

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



<https://www.sfinter.com/report/>